

## 2016年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	森茂 岳雄		
NAME	Morimo Takeo		

## 1. 研究課題

(和文) 大学における海外スタディツアーのプログラム開発と改善  
ー中央大学のグローバル・スタディーズを事例にしてー

(英文) Program Development and Improvement of Oversea Study Tour in Higher Education:  
Case Study of Global Studies at Chuo University

## 2. 研究期間

年間

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

本研究は、大学や NGO、博物館等で実践されているスタディツアーのプログラムの検討を行い、そこから得られた知見をもとに申請者が担当するグローバル・スタディーズの授業改善につなげていくことを目的としている。

本グローバル・スタディーズでは、調査地をアメリカ合衆国のハワイ島に定め、そこにおけるフィールドワークを通して、日本人移民、日系人の歴史や文化、現在の生活についての認識を深めるとともに、それについて学ぶための学校現場で活用できるグローバル教育の教材づくり（アルバム、紙芝居、マンガ、絵本等々）を行うことを目的とした。

本研究は2年間で行われ、1年目に当たる 2016 年度は、内外の主に大学におけるスタディツアーに関する先行研究の収集と先行実践の調査を行い、そこから得られた知見をもとに8月に申請者が実施したグローバル・スタディーズの概要と参加学生の作品(教材)をまとめて報告書を作成した。

2年目にあたる 2017 度は、学生が記述した「一枚ポートフォリオ」や「振り返りシート」の記述の分析を通して学生の自己変容過程を明らかにするとともに、今後のグローバル・スタディーズのプログラムやルーブリックの改善を行ない、それを報告書及び論文にまとめた。

(英文)

In this research, I will examine the study tour program practiced in universities, NGOs, museums, etc., and based on the findings obtained from that, will lead to improving my program of Global Studies in Chuo University. In this Global Studies, through fieldwork on Hawaii Island, students deepen the understanding of the history, culture and current life of Japanese American Immigrants, as well as developing teaching materials for global education that can be used at school. Through analyzing the descriptions of "one sheet portfolio" and "reflection paper" written by students, I clarified the process of self-transformation of students and improved future Global Studies programs and Rubric.